

## 第64回 宇宙科学・探査小委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年11月12日（火） 13：00－15：00

2. 場所：宇宙開発戦略推進事務局大会議室

3. 出席者

(1) 委員

常田座長、杉田委員、関委員、永田委員、野村委員、山崎委員

(2) 事務局（宇宙開発戦略推進事務局）

風木局長、渡邊審議官、松本参事官

(3) 関係省庁等

文部科学省研究開発局宇宙開発利用課 嶋崎課長

文部科学省研究開発局戦略官（宇宙利用・国際宇宙探査担当）付

原田戦略官

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所（ISAS）

國中所長

藤本副所長

川崎理事補佐長

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構国際宇宙探査センター

山中センター長

小川部長

国立天文台

井口教授

4. 議事要旨

(1) 宇宙基本計画工程表改訂に向けた検討

宇宙基本計画工程表改訂に向けた検討について、資料1を用いて、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）から宇宙基本計画工程表の改訂に向けた変更の提案があった。

委員からは、以下のような意見があった。

（○：意見等）

- Ariel等のいくつかのミッションは、これまでも活動はあったが、工程表に明記されていなかったので記載したいという提案か
- ゲートウェイなどを用いた月周回軌道での活動は工程表のどこに記載されることになるのか
- LiteBIRDの記載変更は、前回の議論を踏まえての提案ということか
- 有人と圧ローバについてはNASAとの合意を踏まえて、打上げ時期が2031年度となったので記載したいということか

(2) 月面での越夜について

月面での越夜について、資料2を用いて、JAXAから報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

- 宇宙戦略基金のいくつかのテーマの開発成果が活用されることはあるのか
- 月面における今後の利用も見越して、宇宙戦略基金による支援が終わった後に、どのような戦略で展開していくのか

(3) 月面天文台の検討の進展

月面天文台の検討の進展について、資料3を用いて、国立天文台の井口教授から報告があった。

委員からは、以下のような意見があった。

(○：意見等)

- 宇宙生成後の暗黒時代の観測に向けて、月で観測する上でこの周波数である必要性はどのようなものか。そもそも、月でやることの意義をどう考えているのか
- 高さのある装置となるが、建設にあたっての技術的な要素は何か。また、有人での建設となるのか、無人で行なえる設計になるのか

以 上